

Finatext、60億円の資金調達を実施 手数料0円の株取引アプリ運営のスマートプラスを 5年以内にミレニアル世代向け No.1 の証券会社に

「金融をサービスとして再発明する」をビジョンとする株式会社 Finatext（代表取締役：林良太、以下、Finatext）は、KDDI 株式会社、株式会社ジャフコ、未来創生ファンドに対して総額 60 億円の第三者割当増資を実施いたしました。

Finatext は、これまで証券子会社であるスマートプラスのコミュニティ型株取引アプリ「STREAM」を通じて、日本で初めて従来型委託手数料0円を実現し、投資初心者の参加コストを劇的に下げることになりました。さらに、ブローカレッジ、注文執行をプラットフォーム化する「Brokerage as a Service (BaaS)」構想に基づき、自社及び提携パートナーと多様なサービスを低コストかつ短期間で構築することができる環境を実現いたしました。今回調達した資金は、スマートプラスの資本強化に充当され、画一的なサービスを提供する従来の証券会社とは異なる、ニーズに合わせた多様な証券サービスを提携パートナーとともに提供し、5年以内にミレニアル世代向け No.1 の証券会社になることを目指します。



手数料**ゼロ**、
めんどさ**ゼロ**、
楽しさ**無限大**。

日本初！手数料がいつでも何回でも無料の
コミュニティ型株取引アプリ「STREAM」



また、今回の増資を機に Finatext は KDDI と業務提携契約を締結いたしました。本提携を通じて、分かりやすいユーザーインターフェース・ユーザーエクスペリエンスを備えたスマートフォンアプリを通して、「お客さまの体験価値向上」を目指します。これにより、「au WALLET」や、「au の生命ほけん」「au の損害ほけん」「au のローン」等の KDDI グループ企業が提供する金融および決済分野を中心に、お客さま一人一人にあったライフデザイン提案を行います。また、KDDI の有する 3,900 万人を超える au 契約者に基づく顧客基盤やそれに付随するデータ、株式会社 ARISE analytics の有するデータ利活用ノウハウと、Finatext の有する AI/ビッグデータ解析技術を掛け合わせることで、フィンテック領域の新たな事業創出を検討してまいります。

◆株式会社 Finatext（フィナテキスト）について

Finatext は、「金融をサービスとして再発明する」をビジョンに、東大出身者で 2013 年 12 月に設立された Fintech ベンチャーです。リテール向けにモバイルサービスや投資関連のアルゴリズム等を提供する Finatext と、機関投資家向けに AI/ビッグデータ解析サービスを提供する Nowcast、手数料 0 円のコミュニティ型株取引アプリを運営する証券子会社スマートプラスの 3 社を軸に、国内外（台湾、マレーシア、ベトナム、英国）で事業を展開しています。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 Finatext 高橋充
E-mail: info@finatext.com